

大会名 Competition	第26回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2013 年 5 月 3 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チームA <b>能代工高</b> 68 ○	<table border="1"> <tr><td>18 1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>11 2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>20 3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>19 4th</td><td>13</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	18 1st	13	11 2nd	20	20 3rd	17	19 4th	13	OT		チームB <b>洛 南</b> 63 ●
18 1st	13											
11 2nd	20											
20 3rd	17											
19 4th	13											
OT												

主審:Referee 渡邊 整 栃木県  
副審:Umpire 加川 真 宮城県  
小川 裕之 秋田県  
テーブルオフィシャル:Table officials 能代松陽

No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	松本大河	CAP	12	2	3	0	2	4	×	森井健太	CAP	10	0	3	4	3
5	×	佐々木健登		6	0	3	0	3	5	／	木林千真		9	0	3	3	2
6	／	安保友貴		2	0	1	0	1	6	×	渡部裕地		13	0	5	3	2
7	×	小田桐匡志		22	0	8	6	3	7		竹村蓮		-	-	-	-	0
8		三根一求		-	-	-	-	0	8	×	中島海渡		2	0	1	0	0
9	×	砥綿啓伍		8	0	4	0	3	9	／	河原圭汰		0	0	0	0	1
10	×	荒木直		10	0	5	0	2	10	×	村井大陸		13	1	5	0	2
11		金久保翔		-	-	-	-	0	11	／	菅祐史		4	0	2	0	0
12	／	湊俊樹		6	1	1	1	0	12	／	澤田絢以		2	0	1	0	0
13	／	長谷川暢		2	0	1	0	0	13	／	富田頼		6	0	3	0	0
14	／	齊藤大輔		0	0	0	0	1	14	×	岡田卓也		4	0	2	0	1
15		中村碧杜		-	-	-	-	0	15		下田忠至		-	-	-	-	0
16		渡邊竜也		-	-	-	-	0	16		寺嶋良		-	-	-	-	0
17	／	盛賞海翔		0	0	0	0	0	17		鈴木悠介		-	-	-	-	0
18		小室望海		-	-	-	-	0	18		矢野広大		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤信長							コーチ		吉田裕司						
Aコーチ		栄田直宏							Aコーチ		作本信夫雄						
合 計				68	3	26	7	15	合 計				63	1	25	10	11

※×:スター 〳:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスからのスタート。洛南は#14岡田のミドルシュートで先制するが、その後能代工の激しいプレッシャーから、パスミスやドリブルミスなどのターンオーバーが続き、なかなか点数が伸びない。能代工は#10荒木のゴール下シュートや#4松本のドライブ、3ポイントなど着実に点数を重ねていく。洛南は残り3分にタイムアウトをとるも、流れは変わらず、18-13と能代工5点リードで終了する。

第2Q、能代工は#13長谷川のミドルシュートや#7小田桐のドライブなどで得点するが、どれも単発で終わってしまい、なかなか点差を広げられない。対する洛南は#6渡部のゴール下シュートや速攻などの8連続得点で同点に追いつく。ここで能代工はタイムアウトをとる、体制を立て直すも、洛南の粘り強いディフェンスとリバウンドで流れを取り戻せず、29-33と洛南4点リードで終了する。

第3Q、早々に洛南は#8中島のゴール下シュートや#10村井のレイアップシュートで点差を広げる。能代工は開始2分間ノーゴールが続くが、#7の小田桐のフリースローを皮切りに、#9砥綿のレイアップシュート、#10荒木のゴール下シュートと6連続得点で流れを引き寄せた。洛南はたまたまタイムアウトをとる。その後は洛南が#4森井のレイアップシュートや#6渡部の速攻で加点するも、能代工は#9砥綿のインターセプトからのレイアップや#7小田桐のミドルシュートなどでぐらいつく。両チーム一進一退の攻防の中、終了間際、能代工は#9砥綿、#7小田桐のミドルシュートで1点差まで追いつき、49-50と洛南1点リードで終了する。

第4Q、能代工は#7小田桐のフリースローで同点に追いつくが、洛南も#14岡田のゴール下シュートですぐに入れ返す。その後両チームとも2分間得点が入らず、洛南#10村井の3ポイントシュートでようやく点数が動く。残り4分、能代工#4松本の3ポイントシュート、ゴール下シュートの連続得点で追いつき、逆転する。洛南はタイムアウト後、フルコートプレスで#5小林がインターセプトからの連続得点でぐらいつく。しかし、能代工も#12湊の3ポイントシュートなどで得点を重ね、最後は#10荒木のゴール下シュートで逃げ切り、68-63と能代工が初戦を勝利でかぎった。